



おぐに 議会だより

第3号

平成22年11月10日



小国小学校大運動会

写真提供：コトブキカメラ

平成22年9月議会

- 平成22年度9月補正予算 _____ P2
- 平成22年度9月行政報告 _____ P2
- 平成22年度9月条例改正等 _____ P3
- 平成21年度 決算認定 _____ P4~5
- 一般質問 _____ P6~10
- 先進地視察研修報告 _____ P11
- 広報研修を終えて _____ P12

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592

熊本県阿蘇郡小国町宮原1567の1 TEL.0967-46-2119

平成22年度補正予算可決

議案第46号 平成22年度小国町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出に2億5585.9万円を追加した。歳入の主なもの地方交付税(4311万円)国庫支出金(3700万円)県支出金(7872万円)繰入金(2300万円)繰越金(1億8794万円)で町債を(1億1729万円)減額した。主な歳出においては総務費(1億6366万円)民生費(228万円)農林水産業費(650万円)商工費(370万円)土木費(350万円)災害復旧費(7463万円)衛生費(110万円)教育費(48万円)を追加した

議案第47号 平成22年度小国町老人保健特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出に7万円追加した。歳入は繰越金で、歳出においては諸支支出金に7万円追加した。

議案第48号 平成22年度小国町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出に559.1万円を追加した。歳入は繰越金で、歳出においては諸支支出金に559.1万円追加した。

議案第49号 平成22年度小国町地方改善住宅新築資金等貸付金特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出に428.1万円を追加した。歳入は諸収入で、歳出においては公債費に392.3万円、諸支出金に35.8万円を追加した。

議案第50号 平成22年度小国町水道事業会計補正予算(第1号)

収入・支出の予定額を次のとおり補正した。簡易水道事業費210万円と上水道事業費の予備費64.4万円を削減し、上水道事業費の営業費用に274.4万円を繰り入れ追加した。



悠木産業の清算について

『農林振興課長』

- 1 清算後の製材所跡について、(株)南栄による地元説明会を次のとおり予定している。
 - ① 9月10日黒淵公民館大字黒淵協議会・387会の役員、行政部長対象
 - ② 今月末を黒淵地区住民対象
 - ③ 2 その製材所土地・建物について、(株)南栄は借用から購入への考えを示された。

行政報告

総合計画について

『総務課長』

- ① 現在策定中で2000件のアンケートを実施した。
- ② 11月に策定委員会の開催。
- ③ 12月議会に審議が出来るようなたき台を提出。
- ④ 1～2月策定審議会を開催。
- ⑤ 3月議会にて議決以上のスケジュールで行いたい。

光ファイバーについて

『総務課長』

- ① 現在特例申し込み期間中で1700世帯の申し込みがあつている。
- ② 当初の事業費は16億円だったが、14億円に低下した。
- ③ この低下した分で画像の配信を行いたい。これらの機器の整備を行いたい。
- ④ 役場もカメラワーク等を研修して行きたい。
- ⑤ スタジオはFMスタジオを利用する。
- ⑥ 人材を今後確保して行きたい。



平成22年度条例改正等

- 議案第40号 小国町職員等退職手当基金条例について
- 議案第41号 小国町社会教育委員条例の一部を改正する条例について
- 議案第42号 阿蘇広域行政事務組合の共同処理する事務及び規約の一部変更について
- 議案第43号 過疎地域自立促進計画の策定について



過疎債を起債し、平成22年度より平成27年度までに、町内の道路や水路、福祉、教育その他住民の暮らしに必要な環境整備を更に行うて行くことになりました。

議案第44号 町道路線の廃止について

※国道387号線開通に伴い、岳の湯～戸井の口線の一部が町道から外れました



議案第45号 町道路線の認定について

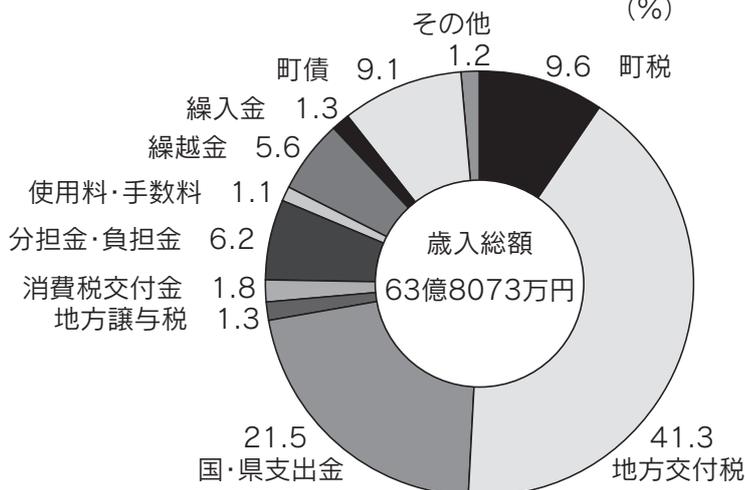


決算を認定

一般会計

歳入

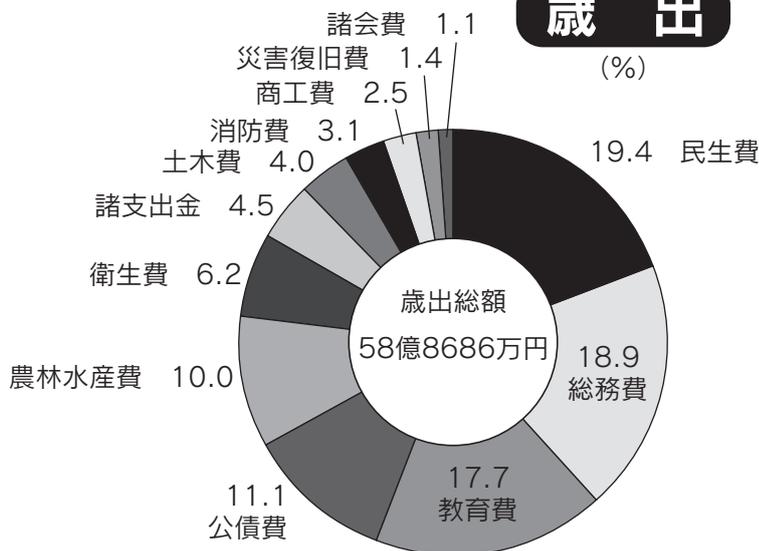
(%)



町税	9億6000万円
町債	9億1000万円
繰入金	8025万円
繰越金	3億5468万円
使用料・手数料	7166万円
分担金・負担金	3億9481万円
消費税交付金	1億1671万円
地方譲与税	8608万円
国・県支出金	13億7111万円
地方交付税	26億3342万円
町税	6億948万円
その他	8389万円

歳出

(%)



民生費	11億4449万円
総務費	11億1509万円
教育費	10億3960万円
公債費	6億5565万円
農林水産業費	5億8956万円
衛生費	3億6511万円
諸支出金	2億6524万円
土木費	2億3594万円
消防費	1億8400万円
商工費	1億4502万円
災害復旧費	8078万円
議会費	6639万円

歳入全体の自主財源の割合は、前年比6%減少している。経済不況の影響によるものであり、また、団塊の世代の退職により税収の減収もみられる。この年度は国の経済危機対策臨時交付金により総額は前年対比25.1%増額となった。今後も景気の回復は見込めず、さらなる経費の節約が望まれる。

歳出では、総務費・教育費・土木費が大幅な伸びとなった。これは国の経済対策により小学校の耐震補強工事と大規模改修工事及び道路改修工事が大幅に実施されたものである。民生費が年々伸びてきている、民生費は高齢化社会に対応した政策が影響している。今後、効果のある政策が望まれる。

監査委員の意見書より

代表監査委員

鎗水 盛春

議選監査委員

奴留湯哲宣

平成21年度

小国町水道事業会計

区分	収入決算額	支出決算額	増減額
上水道事業	1億175万円	7797万円	2378万円
簡易水道事業	2834万円	4542万円	△1708万円
合計	1億3009万円	1億2339万円	670万円

区分	20年度	21年度	対前年比
経営収益	1億3236万円	1億2411万円	△825万円
経営費用	1億2323万円	1億2068万円	△255万円
経営利益	913万円	343万円	△570万円
当年度純利益	906万円	343万円	△563万円



水道事業会計では、年度収支では、前年度利益は343万円、前年対比56.3%減、給水収益が5.3%減少している。有収率が年々低下しているのと給水人口の減が大きな減収の要因になってきているようだ。今後、漏水調査を実施し、漏水工事等を行い有収率を上げることで、事業の改善を図り、経営効率化に一層努める必要がある。

特別会計

区分	歳入	歳出	収支額
国民健康保険	12億6394万円	12億3392万円	3003万円
老人保健	501万円	21万円	480万円
介護保険	7億4270万円	6億7365万円	9605万円
後期高齢者医療	9924万円	9428万円	496万円
地方改善施設住宅新築資金等貸付金	157万円	157万円	0円
坂本善三美術館	1315万円	1315万円	0円
簡易水道	791万円	768万円	23万円
農業集落排水事業	1億4388万円	14064万円	323万円
特別会計総額	22億7740万円	21億6510万円	1億1230万円

国民健康保険の歳出では、前年対比78.5万円の増であり、年々歳出は増加の傾向である。健康増進による医療費の削減と収入未済額が約4025万円あり、自主財源である保険税の確保が必要である。

介護保険歳出は、前年と比較して増額となったのは、保険給付費8031万円である。高齢者の健康増進に努め、施設利用が進まない健康の町づくりに努めなければならない。

坂本善三美術館では、一般会計よりの繰入金金が974万円であり全体の74%を占めている。入館者増やシヨップ売上に努めるとともに、町民に親しまれる美術館が望まれる。

農業集落排水事業では、合併浄化槽管理費と差が出ないよう収納率の向上が望まれる。

岳の湯・はげの湯にバイナリー発電計画？

熊谷 眞巳



岳の湯、はげの湯地域住民は地下熱水を活用し共存・共栄を目指してきた。

環境にやさしい自然エネルギーの地下熱水を利用した、バイナリー発電計画をしていると聞くが、町長の考えは【総務課長】岳の湯組は以前の電源開発による地熱発電計画を断念した経緯がありその際、賛否を巡って住民が二分されたこともあり、町は地元の判断を見守りたい。

口蹄疫において、初動ミスが原因で惨劇を生んだと聞く。被害は危機意識の低



さや消毒体制の不備によつて拡大したと思う。被害農家へのすみやかな補償などが大切と思うが、町長の考えはどうか。

【町長】防疫体制は県や市町村を超えて広域的に行うべきと思う。当町でも5か所の消毒ポイントを設け町職員が交代で消毒を行った。今後、郡内や県内での防疫訓練などを行い、早期対応に努めたい。

農畜産物の暑熱対策は

小田 清



今夏、記録的な猛暑で農作物畜産物の栽培や収穫の被害が出ていると聞く。現在の被害状況と対策についてどう考えているか。

【農林振興課長】小国では秋出荷の大根や野菜が多く影響が出ると思われる。現にほうれん草は出荷が少なくなり価格が上がっている。

熱中症の牛も出ていると聞くので対策を考えている。

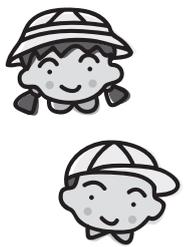
町立保育園の建て替え計画と補食給食の改善、待機児童の現状と保育ステーションや送迎の可能性について。【保育園長】建て替え

は過疎計画・総合計画にて計画。園児は定員25%超までは受け入れ可能のため待機児童はいない。完全給食については、3歳以上の園児が補食給食なので完全給食について検討したい。園児用の送迎バスは座席の規格が違う、将来統合するときを検討したい。

町内外の若者が移住・定住して、農工商で自立経営できるように相談窓口はあるか。

【商工企業促進課長】県の中小企業融資制度があるが、新規の方は役場へ相談してほしい。

【町長】移住については、ゆうステーション2階に窓口を設けているので相談してほしい。



町内企業に支援・優遇を

原山 光成



【町長】 北里柴三郎博士は、小国町にとって誇るべき存在でありながら、町の玄関口のゆらステーションに生誕地等の看板一枚ない。博士の看板を立てるべきと思うが。

【町長】 博士の顕彰としては、町内で柴三郎博士マラソンなども始めた。北里研究所の意向も聞く必要があると思う。意向を打診して考えたい。

【町長】 町内に本社を置き町内の人を雇用し、町外から金を稼ぐ企業は、町にとって貴重な存在である。企業誘致も大事だが、そのような要件をみたく企業を調査

し、支援・優遇策を考えるべきではないか。

【商工企業促進課長】 そのような企業が町内に存在することは承知している。調査して、支援・優遇を考えてみたい。

【町長】 町内の農業は疲弊の一途をたどっている。木材の乾燥は地熱を利用して効果をあげていると聞くので、農業にも地熱利用を考えてみてはどうか。

【町長】 木材乾燥は良い製品ができ評価も高い。農業利用など大規模な地熱利用は地元の合意次第で考えたい。



地域性を活かした企業誘致を

奴留湯 哲宣



が期待される。

【町長】 地域あつての町であり、地域の实情に合ったやり方をしたい。行政として色々な情報を地域に発信していきたい。

【町長】 電気自動車の普及が急速に進む中、庁舎横に車用充電器装置を設置し対応している自治体もある。小国町もゆうステーションか庁舎に設置し、観光に誘ってはどうか。

【総務課長】 行政もエコを視野に入れて行きたいが、車用充電設備に

なる300万円位かかるので、商工企業促進課と考えて行きたい。

【町長】 平野屋跡地の現状は。有効活用の中から地区駐車場としてもらいたい。グループホームの販売所や縁側があり土・日は観光客も増えている。

【商工企業促進課長】 平野屋跡地はまだ売れていない。

利用に当たっては水路の安全対策を行えば可能なので、その方向で考えていきたい。



【町長】 なかなか企業誘致が進まないようである。これまでの進出企業は工業団地があったり、耕作放棄地があったので進出してきた。

地域にある資源（自然エネルギー）の地熱や自然の（エコ）を活用できる企業を誘致してほしい。地熱や自然は電気以外にも色々な活用



子どもの命を守るための 対策について

梅田 正剛



【教育長】 連日子供への虐待、育児放棄などの報道があり心が痛む。大切な子どもの命を守るため小国町でも予防対策が必要と思うが対応をしているか。

【教育長】 学校では水泳や体操の時間に注意して見ている。

【保育園長】 保育園では毎日観察しているし、子育て支援センターでも注意している。

センターに来られない家庭には保健師が指導に行くなど幾重にもセーフティーネットワークを構築し育児サポートを行っている。異常を発見した場合

確認し話し合うが、解決しない場合は児童相談所に通報する。

【地元説明会の開催時間について、午後7時では早すぎる気がする。

また公共交通の説明会については、範囲が広く説明会場まで3、4キロと地域の実情や交通弱者の事を考えていないのではないか。

【建設課長】 今後十分注意して対応したい。



【ゆうステーション横の屋根付き橋の桁が腐食して危険。調査して修理すべきではないか。

【建設課長】 ご指摘の橋は、屋根や他の部分はしっかりしているが、基礎となる桁部分が腐食している。早急に橋を設計したコンサルタントと協議し有効な方法で補修に入りたい。



【総務課長】 平成16年「隣地安全対策立木等撤去補助事業」が定められている。基本的に自分の家又は自己の立木が、他人の家に被害をもたらす可能性があれば、危険木と認定され伐採経費が補助対象となる。

危険木伐採補助金について

永田 征一郎



経費の3分の1が補助対象で最高額30万円まで。

【建設課長】 昭和62年新橋若宮地区は「急傾斜地崩壊危険区域」の指定がなされている。指定範囲は長さ500メートル高さ20メートルと広範囲に及ぶ。

【建設課長】 昭和62年新橋若宮地区は「急傾斜地崩壊危険区域」の指定がなされている。指定範囲は長さ500メートル高さ20メートルと広範囲に及ぶ。

企業誘致について検証と 総括を

北里 邦治



問 町長が進めてきた施策の中で、最も重要な企業誘致について町としても検証、あるいは総括を行う時期に来ていると思うがどうか。

【町長】 企業誘致だけでなく、今まで進めてきたいろんな政策について総括が必要ではないかと思っている。総括を基にこれから作り上げる総合計画などの礎になればと思っている。

町長就任時に、町民から期待の多かった件に、若者の働く場の確保があった。

企業誘致にあたっては、行政の思いとしては、雇用の促進、将来にわ

たつての定住、若者が安心して残れるような町づくりがある。中山間地という条件を考え、どうしても仕事や雇用という課題があるので、それを進めなければと拙速したかもしれない。

総括にあたり、企業誘致に関し検証する可能性もあり、地域の実情に合った慎重な姿勢が必要であると思っている。



問 農家の収入安定が若い後継者を残すことになると思う。人口減少を食い止める施策があるか。

【町長】 全国的な少子高齢化の中で小国町も例外ではない。減少から横ばいしないし、なだらかな減少で収まるように、農産物直販所活用による農業の活性化や、企業誘致などの施策を進めながら若

農業後継者対策は

石松 丈多郎

者の定住を進めたい。

問 4年前、町長に就任し、さまざまな行政課題に取り組んで来られたが、総合計画、過疎地域自立促進計画実現のためにも来期の改選で2期目を目指すのか。

【町長】 次期町長選に出

馬し2期目を目指す。

就任後より各地を回った地域懇談会でも、厳しい意見が多かった。町の財政も回復しつつあるので、積極財政に転換しながら、町民のために取り組んでいきたいと考えている。



専決処分と行政報告について

時松 昭弘



【町長】専決処分についてお尋ねする。

6月議会で国民健康保険の専決がなされ、保険税の引き上げが行われた。地方自治法第179条と第180条に基づく専決処分とは議会が成立をしないとき・緊急を要する事項などとなっている。今回の引き上げは国庫負担率の引き下げで税の引き上げとなった事は理解できるが国の通達は3月末にきていた。その間、臨時議会を開催し議決をすべきではなかったのか。

【町長】私も議員時代に同じことを思っていた。

た。確かに国民健康保険条例や税条例改正については3月末に通知があった。

今後議会運営や事務上に問題がなければ臨時議会を開催したい。

【町長】今回も行政報告がなされたが、議員必携には行政報告は町長等が報告をすべきとある。過去の議会でも何回か課長が報告を行ったが、本来の姿に戻すべきではないか。

【町長】正直申し上げて安易に考えていたので謝罪したい。今後はそのようにして行きたい。



職員の意識改革について

高村 祝次



【町長】農家はコメの価格が60キロ当たり8000円台と下落し、猛暑による野菜の不作、口蹄疫による枝肉価格の低迷で大きな打撃を受けている。

執行部では職員の意識改革を通して住民の視点に立った行政運営をしてほしい。

【町長】課長会議などを通して各課新人職員まで町民の実情を理解するために、現場に出るよう指示をしている。今後徹底したい。



先進地視察研修を終えて



指定管理者の農産物直販所



ふるさと市場の状況

議長 河津 征四郎



今回「日本で最も美しい村」として有名な北海道美瑛町を視察した。

美瑛町は、平成12年の地方分権一括法の施行に伴い、それまでの行政主導の町づくりから町民参加型の町づくりを目指してきた。

厳しい財政状況の中でも町民と意思の共有を図り、町づくりを進めて行かなければならないとして、農地などの景観を活かし、文化を守り国の施策に頼らない町づくり計画を策定した。

さらに、サポーター

企業を募るなどの独自の地域づくりを進めた結果、観光客120万人が訪れる一大観光地と変貌した。

また、廃校跡地では、写真館・体験交流館・食品加工場など多彩な利活用がなされていた。小国町でも昭和60年から「悠木の里づくり」がスタートした。

地元にある豊かな自然や環境をかがえのない地域資源として磨き上げることが大事だと考える。

特産の小国杉・ジャージー牛や湯煙り立ち上る湯の里を従来の山村の発想を超えて活用すべきと感じた。

NPO法人「日本で最も美しい村」には九州でも南小国町や星野村がある。

今回の研修を通じて我々の町も農山村の景観や文化・環境を守るため加盟すべきと思った。



学校跡地利用で前田真三の展示館



美瑛町役場にて

ふるさと秋祭り賑わう



ふるさと 秋祭りに 参加して

10月16日～18日まで小国両神社、秋の大祭ふるさと秋祭りが行われた。今年も天候に恵まれ、商工会、町内会、各大字協議会を中心として盛大に執り行われた。今年18日が月曜日であり、午前中は小国小・小国中学校の子ども達の参加があったが、午後からは小国中の子ども達も参加があり、パレードなどに参加する子ども達が少ないように感じた。小・中学生の参加が一日中出来れば祭りも、もっと盛大になると思う。地域の伝統文化を伝えていくためにも、全町民を挙げてのお祭りにしたい。

編集後記

議会だより発行も3回目を迎え様々な、ご意見を戴いてきました。広報委員会として、親しみやすい議会だよりを目指していくために、8月19日・20日にかけて、福岡県志免



福岡県香春町にて研修



全国議会広報研修会

町と香春町に広報研修委員6名で視察を行いました。両町とも全国広報クリニックス審査会において高い評価を受けており内容もより充実した広報作成に取り組んでおり、大変得るものが有りました。

また、25日・26日には全国広報クリニックス研修会に小田、石松両議員が参加し、その後広報特別委員会を開催し、今後の議会だよりの作成について、意欲を持って取り組んでおられます。これから内容をより充実して行けるように努力していきたいと存じます。

議会広報特別委員会

委員長	時松 昭弘
副委員長	小田 清
委員	奴留湯 哲宣
	石松 丈多郎
	永田 征一郎
	原山 光成
	熊谷 眞巳
発行責任者	
議長	河津 征四郎